

古川の渡辺酒造店 日本酒ファンに英語で説明

海外へオンライン試飲会



酒蔵内を案内する北場さん＝飛騨市古川町の渡辺酒造店で

日夜、海外の消費者向けにインターネットを通じたオンライン試飲会を開いた。

豪州の輸入業者と協力して実現。ビデオ会議アプリ「ズーム」で酒蔵と豪州、米国、英国、香港の二十七八カ所を結び、レストランや小売店の関係者らが参加した。海外向けのオンラインイベントは、同社では初めての開催。

試飲会の冒頭、渡辺酒造店の米国人蔵人タリル・コディーさん(46)が、英語で同社の歴史を紹介した。世界各国の参加者らは、それぞれ現地で購入した渡辺酒造店の日本酒を、グラスやちよこに注いで乾杯。コディーさんに質問したり、酒の感想を語り合ったりしながら杯を重ねていた。

試飲会の途中で、酒蔵見学のコーナーもあった。杜氏の北場広治さんがスマートフォンを持って酒を仕込むタンクや、こうじを仕込む部屋などを案内した。

同社の担当者は「家で日

本酒を飲む楽しさを海外の人にも知ってもらえれば」とPR。今後もオンラインイベントを開き、世界各地の日本酒ファン拡大を目指していく。

(瀬田貴嗣)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で日本酒需要が落ち込み、国内外の試飲イベントなどが中止となる中、飛騨市古川町の酒蔵「渡辺酒造店」は二十二